

令和5年度事業報告

令和5年度は、公益目的事業である廃棄物処理事業及び環境保全啓発事業について、次のとおり事業運営を行った。

1 廃棄物処理事業

(1) エコパークいずもぎきの運営

エコパークいずもぎきの令和5年度の営業状況は、処理量 60,800 トン、料金収入 1,720,000 千円を見込んだところ、決算は、処理量で 22,814 トン減(37.5%減)の 37,986 トン、料金収入で 308,044 千円減(17.9%減)の 1,411,956 千円となった。

前年度との比較では、搬入量を抑制の方向に適正化させるための対策を講じたことにより、処理量で 28,169 トン減 (42.6%減)、料金収入で 476,518 千円減 (25.2%減) となった。

ア 令和5年度の営業状況

- ① 処理量 37,986 t (160 t/日、5.5 t/台)
- ② 料金収入 1,411,956 千円 (37,170 円/ t、203,804 円/台)
- ③ 搬入車両数 6,928 台 (29 台/日)
- ④ 年間搬入受入日数 237 日
- ⑤ 施設視察者 38 団体 延べ 255 人 (前年比 109.4%)
(県外：8 団体 延べ 15 人、県内：30 団体 延べ 240 人)

⑥ 令和5年度の主な廃棄物の種類

単位：t、%、千円、%

種 類	処理量	構成比	処理料金	構成比
選別等残さ ※「解体残さ」から名称変更(R5.1)	9,377	24.7	428,868	30.4
石膏ボード	8,331	21.9	284,549	20.2
有機・無機・上水道汚泥等	5,267	13.9	134,439	9.5
廃プラスチック	3,227	8.5	149,072	10.6
非飛散性アスベスト	2,344	6.2	139,077	9.8
鉱さい	2,306	6.1	43,279	3.1
燃え殻	1,536	4.0	44,596	3.2
金属くず、ガラス、陶磁器くず	1,146	3.0	33,448	2.4
下水道汚泥	356	0.9	12,490	0.9
シュレッダーダスト	228	0.6	12,633	0.9
粗大不燃ごみ処理残さ	51	0.1	1,933	0.1
その他	3,817	10.0	127,572	9.0
合 計	37,986	100.0	1,411,956	100.0

⑦ 令和4年度の主な廃棄物の種類

単位：t、%、千円、%

種 類	処理量	構成比	処理料金	構成比
選別等残さ ※「解体残さ」から名称変更(R5.1)	20,448	30.9	605,871	32.1
石膏ボード	11,161	16.9	334,479	17.7
有機・無機・上水道汚泥等	7,545	11.4	175,866	9.3
廃プラスチック	6,086	9.2	203,036	10.8
鉱さい	5,579	8.4	116,145	6.2
シュレッダーダスト	2,681	4.1	93,342	4.9
非飛散性アスベスト	2,508	3.8	110,999	5.9
燃え殻	2,278	3.4	61,681	3.3
金属くず、ガラス、陶磁器くず	1,863	2.8	39,724	2.1
下水道汚泥	323	0.5	10,640	0.6
粗大不燃ごみ処理残さ	50	0.1	1,798	0.1
その他	5,633	8.5	134,893	7.1
合 計	66,155	100.0	1,888,474	100.0

⑧ 操業開始（平成11年度）から令和5年度までの主な廃棄物の種類

単位：t、%、千円、%

種 類	処理量	構成比	処理料金	構成比
選別等残さ ※「解体残さ」から名称変更(R5)	411,843	20.2	9,226,205	19.9
石膏ボード	267,810	13.1	5,488,457	11.9
有機・無機・上水道汚泥等	261,193	12.8	6,252,184	13.5
燃え殻、ばいじん、焼却残さ	257,932	12.6	5,879,221	12.7
廃プラスチック	159,677	7.8	3,211,485	6.9
シュレッダーダスト	105,839	5.2	2,945,011	6.4
鉱さい	101,328	5.0	1,381,622	3.0
下水道汚泥・し尿汚泥	94,163	4.6	1,744,322	3.8
金属くず、ガラス、陶磁器くず	89,562	4.4	1,378,481	3.0
粗大不燃ごみ処理残さ	75,479	3.7	2,474,431	5.3
非飛散性アスベスト	38,865	1.9	1,658,208	3.6
その他	175,487	8.6	4,628,991	10.0
合 計	2,039,178	100.0	46,268,618	100.0

イ 年度別営業状況等

①年度別計画処理量と処理実績

単位：t、%

年度	計画処理量 (a)	処理実績 (b)	(b) / (a)
令和5	60,800	37,986	62.5
令和4	60,800	66,155	108.8
操業開始からの累計	1,833,656	2,039,178	111.2

注：災害廃棄物、汚染土壌を含む

②年度別計画収入額と収入実績

単位：千円、%

年度	計画収入額 (a)	収入額実績 (b)	(b) / (a)
令和5	1,720,000	1,411,956	82.1
令和4	1,660,000	1,888,474	113.8
操業開始からの累計	42,551,924	46,268,618	108.7

注：災害廃棄物、汚染土壌を含む

(参考) 年度末残容量の推移

	処分場処理能力	残容量 (m ³)
平成11年度末	1,484,000	1,407,536
平成12年度末	〃	1,289,660
平成13年度末	〃	1,135,558
平成14年度末	〃	1,050,642
平成15年度末	〃	943,756
平成16年度末	〃	846,730
平成17年度末	〃	754,535
平成18年度末	〃	662,291
平成19年度末	〃	568,077
平成20年度末	〃	512,290
平成21年度末	〃	462,870
平成22年度末	〃	400,559
平成23年度末	〃	305,515
平成24年度末	〃	250,208
平成25年度末	〃	186,950
平成26年度末	〃	125,719
平成27年度末	1,605,800	166,000
平成28年度末	〃	112,609
平成29年度末	〃	68,027
平成30年度末	2,543,200	908,999
令和元年度末	〃	786,209
令和2年度末	〃	678,530
令和3年度末	〃	586,877
令和4年度末	〃	519,308
令和5年度末	〃	481,261

注：残容量には覆土・押さえ盛土分を含む。

注：平成27年度末は第2期処分場積増後(+121,800m³)の容量。

注：平成30年度末は第3期処分場増設後(+937,400m³)の容量。

(2) エコパークいずもぎきの搬入量適正化

令和4年度まで処理量が計画を上回って推移し、埋立完了時期が早まりそうな懸念があったことから、搬入量抑制方針に基づき実施した令和5年1月及び4月の処理料金の引き上げにより、搬入量は抑制された。これにより、当初計画していた令和13年6月までの搬入が可能となった。一方で、現状の搬入量で推移した場合には搬入可能期間が延びる可能性があり、引き続き状況を注視して参りたい。

(3) 次期処分場建設に向けた取組

施設整備の事業主体として、測量、基本計画・基本設計、環境影響評価などに着手し、建設に向けた準備を進めた。また、用地取得のための相続等調査に着手し、取得・補償方針の検討を進めるとともに地権者への接触を開始した。

2 環境保全啓発事業

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく新潟県地球温暖化防止活動推進センターの事業として、県民や事業者に対する普及啓発に取り組むほか、引き続き、リサイクル推進事業の他、事業団の環境保全普及啓発事業を行う。

- ① 地域における地球温暖化防止活動促進事業（環境省補助、県委託事業）
市町村や大学等と連携して地球温暖化防止の普及啓発を行うとともに、昨年から国を中心に取組が開始された「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の普及等を行った。
- ② 地球温暖化防止活動推進員等活動支援事業（県委託事業）
地球温暖化防止活動推進員に対し研修会を開催するとともに、地域の環境講座への派遣等を行った。
- ③ 事業者向け地球温暖化防止活動啓発事業（環境省補助、県委託事業）
県と共同で設置した推進協議会（プラットフォーム）を運営するほか、県内中小事業者等の地球温暖化防止の取組を促進するため、HP の活用やセミナーの開催等により情報提供・相談業務等を行った。
- ④ 「リサイクルアドバイザー」設置業務（県委託事業）
産業廃棄物のリサイクルに係るアドバイス業務を実施するとともに、優れた3Rの取組などの情報収集や発信を行った。
- ⑤ 環境保全普及啓発事業（事業団事業）
環境イベントへの参加、環境保全に関する地域活動の支援、環境学習の取組の推進等を行った。